

北海道PTA連合会

222号



会 報

札幌市中央区北1条西3丁目 S T V時計台通ビル6階 / TEL(011)-251-6937 FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

笑顔につながるPTA活動

檜山PTA連合会 会長 菱田 直樹

学校に足を運ぶたび、子どもたちのほじける笑顔に心温まります。私たちは、こうした貴重な時間や空間を守り続ける必要があると感じております。子どもたちが「笑顔」でいられることは、私たちにとっても、また先生方や地域の方々にとっても大きな幸せです。

楽しい学校生活を送るためには、安全で安心できる環境が不可欠です。私たちPTAは、より良い環境を提供するために、お互いに連携し、信頼を深めながら活動していくことが重要だと思っています。会員同士が互いを尊重し、助け合っていく中で、私たち自身も「笑顔」でいることが、子どもたちの「笑顔」につながると信じています。

これからも感謝の気持ちを支えにした組織づくりを心掛け、子どもたちの輝きを共有する喜びを感じながら、PTA活動を進めていきたいと思っております。

子どもたちのために、まずは大人たちから

オホーツク西部地区PTA連合会 会長 加賀 琴江

今年度、オホーツク西部地区PTA連合会研究大会では、「姿勢」をテーマに開催しました。現代はデジタル社会となり、学校でもICTの導入が進んで大人も子どももデジタル端末に触れる時間が増えています。そんな中、普段の姿勢や部活動や運動の場面を見ていると、首や肩回りの姿勢が気になることがあり、老若男女にも共通する「姿勢」というテーマについて改めて見直そうと考え、研究テーマとして取り上げました。

講話では、姿勢が体に与える影響だけでなく、姿勢の悪化により血流が悪くなると脳の活動低下や自律神経失調といった心へも影響を及ぼすことも教えていただきました。現代社会ではメンタルヘルスの問題が多く取り上げられています。こうした背景も踏まえ、普段からの姿勢を意識していきたいものです。

また、講話の中で「ミラーニューロン（ミラー神経細胞）」という言葉を知りました。例えば、「笑顔でいる人の表情を見た人は、たとえ自分が楽しくなくても、見た人の神経細胞が反応して、その楽しさが伝達される」という現象です。

私は現代社会には生きづらさを感じる要素が散在しているように思います。しかし、そんな社会でも子どもたちにはのびのびと楽しく、さまざまな視点を見つけながら成長して欲しいと願っています。そのためには、まず大人である私たちが「楽しむ姿」を子どもたちに見せることが大切だと感じます。「子どもたちにとって」を主体にして、ミラーニューロンの力を生かし「まずは大人から楽しむ」を目標に、子どもたちの明るい未来に繋がられるようなPTA活動を皆さんと共に見つけていきたいと思っております。

令和6年度 各委員会研究の概要

※詳細は研究集録参照

【組織・連携委員会 教師代表委員 山際 昌枝】

1 今年度の取組

研究テーマ「共に学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方」を踏まえ、次の4点を中心に各地区の現状交流や意見交換・協議を重ねた。

- *持続可能なPTA活動・組織について協議を継続する。
- *学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築を図る。
- *各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信・共有を行う。
- *令和8年度函館大会での提言について協議を継続し、サポートしていく。



2 成果

- *単位PTAにアンケートを実施し、持続可能なPTA活動の取組内容や組織体制の改編、地域と連携・協働した活動事例等の情報を共有するとともに、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの教育を積極的に推進する役割を担う組織の在り方の研究を深化させることができた。
- *各地域の情報交流を行うことにより、年間を通し様々な地域の活動の工夫や悩みなどを共有し、課題解決を図ることができた。
- *単位PTAから情報収集した「持続可能なPTA活動・組織」や「学校と家庭・地域の連携・協働体制」の情報をもとに、令和8年度函館大会での提言に向けた重点を協議することができた。

3 課題

- *各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な情報発信
- *学校と家庭・地域による一層の協働とPTAが担うべき役割についての検討
- *委員会で交流される貴重な情報を全地域の活動に還元していく工夫

4 次年度の方向性

- *持続可能なPTA活動・組織について協議の継続
- *学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築
- *各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信、共有
- *令和8年度研究大会での提言・発表に向けた具体的な取組の推進

【教育・環境委員会 教師代表委員 木村 貴信】

1 今年度の取組

- *研究内容1「子どもの教育活動」に関わって～令和6年度の提言発表と次年度以降に向けた研究の方向性等の確認
- *研究内容2「大人の環境整備」に関わって～令和9年度の提言に向けた重点・具体の決定と令和9年度の提言に向けた事例収集等
- *各地区の実践交流や研究大会の報告を行い、研究集録の作成を進める。



2 成果

- ア 函館市立千代田小学校の提言から、児童数の減少と共にPTA会員数の減少にも直面する中、学校という場を地域との連携の中核に据えて、子どもだけではなく大人も一緒に楽しい時間を共有できるようになった。
- イ 「大人の環境整備」について、令和9年度の提言に向けて準備を開始した。具体的には、各地区・単Pの活動について交流をすすめるとともに、「アフターコロナ」についての各地区の実態についても交流を行った。
- ウ 各地区PTAの実践交流について
各地区の研究大会や研修会、実践に関する報告をもとに、取組内容や成果・課題等について委員会で交流した。各地区の実情に応じた実践や、他の地域でも取り入れられる内容等多岐に渡る交流となった。

3 課題

本委員会は今年度も、P T A活動の前進に向けて取組を進めてきた。これまで同様、会議に参集できない委員はオンラインで参加するなどの工夫を継続してきた。今後も、会同による委員同士の信頼関係を深めると共に、持続可能なP T A活動に向けて意見を交わし合うことこそが、北海道におけるP T A活動の将来をかたちづくる第一歩となることを確認した。

4 次年度の方向性

令和6年度の研究大会の反省をもとに、令和7年度以降の研究や令和9年度研究大会提言発表に向けた準備を進めていく。

研究テーマと研究の視点に照らし、全道で進められている活動の好事例を積極的に発信していきたい。

また、単Pの活動とC Sの活動について、「ねらい」を明確にした上手な「棲み分け」について調査研究を行い、大会提言発表につなげていきたい。

【子育て委員会 教師代表委員 田中美由紀】

1 今年度の取組

(1) 今年度の研究テーマ「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

(2) 研究の内容

- ①子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方
- ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方
- ③子育て委員会発の話題提供源としての広報活動
- ④令和7年度提言に向けた取組の準備

2 成果

ア 研究大会提言の推薦に向けてアンケートを実施し、それをもとにした話し合いができた。

イ 各委員からそれぞれの単Pや市町村P連での活動報告があり、学びを深めるとともに活発な交流ができた。

ウ アンケートの回答から、コロナ禍が明け、活動が積極的に行われている現状を垣間見ることができた。また、制限がなくなったことで、実施したくてもできないフラストレーションから解放された状況も伺えた。

エ アンケートの回答や活動の交流を通して、「こういう活動なら自分たちにもできそうだ」と感じ、活動の幅を広げることができたという報告があった。

オ P T A不要論もささやかれている中で、前向きな議論や「やはり必要だ」という話があった。

3 課題

ア アンケートの回答から、単Pの組織改編後の活動内容が明らかになっていなかったり、活動に後ろ向きなものもあったりした。

イ 委員会に多くの委員が参加できるような工夫

ウ 委員会の活動の共有化に向けた還流の実施

エ P T A活動に対する堅苦しいイメージを払拭する必要がある。

4 次年度の方向性

ア 提言推薦担当地区への支援

イ P T A活動での困り感を解消できるような取組の実施

ウ 地区研や子育て研の講師選定に関する情報提供を含めた交流や支援

エ 親自身が人として輝き健康で笑顔であることの大切さを見つめ直すために何を学びたいのかを話し合う。

オ 北海道は広域で規模もまちまちであることから、身の丈に合った活動の継続により、持続可能なP T Aを目指していく。



ブロック連絡会

1. ブロック連絡会の開催日程及び内容

(1) 第1回ブロック連絡会

- ①日 時 令和6年6月8日(土)
- ②場 所 ホテルポールスター札幌
- ③対 象 令和6年度総会出席者
- ④内 容
 - ・自己紹介
 - ・ブロック連絡会の趣旨説明
 - ・ブロック体制の確立、役員構成
 - ・今後の予定等

(2) 第2回ブロック連絡会

- ①日 時 令和6年6月29日(土)
*委員会・地区事務局長会終了後
- ②場 所 ホテルポールスター札幌
- ③対 象 委員会・地区事務局長会出席者
- ④内 容 第1回会議の課題の確認等
第3回ブロック連絡会の予定

(3) 第3回ブロック連絡会

- ①日 時 7月～11月のできるだけ早い時期が望ましい。(研究収録の執筆や道P連事業の説明、各ブロックの交流等を考慮)
- ②場 所 各ブロック
- ③対 象
 - ・地区役員(会長、組織・連携員会担当者、教育・環境委員会担当者、子育て(広報委員会担当者、事務局長))
 - ・開催市町村P連役員等
 - ・道P連会長、道P連各委員会委員長、道P連事務局
- ④内 容
 - ・道P連事業の説明
 - ・各地区の活動の交流、意見交換
 - ・道P連や道教委等への質問、要望
 - ・ブロック研修会

(4) 第4回ブロック連絡会の開催が必要なブロックは、第2回地区事務局長会議終了後、同会場で実施

- ①対 象～ブロック会長と地区事務局長

2. 第3回ブロック連絡会 開催内容

【第1ブロック】

- 1. 日 時 令和6年9月28日(土)
- 2. 場 所 小樽市朝里川ウィンケルビレッジ
- 3. 参加者 31名
- 4. 研修内容
 - ・道P連(含各委員会)の活動
 - ・古田優子氏(小樽市P連アドバイザー)による講演等

・各地区P連の活動報告・交流

【第2ブロック】

- 1. 日 時 令和6年11月30日(土)
- 2. 場 所 愛別町
- 3. 参加者 35名
- 4. 研修内容
 - ・道P連(含各委員会)の活動
 - ・井上裕貴氏(九州大学大学院理学府)による講演「光る石『北海道石』発見」と題した講演
 - ・各地区P連の取組等についても情報交換

【第3ブロック】

- 1. 日 時 令和6年10月5日(土)
- 2. 場 所 北斗市農業振興センター
- 3. 参加者 32名
- 4. 研修内容
 - ・道P連(含各委員会)の活動
 - ・各地区P連の実践交流
 - ・本田真大氏(道教大函館校准教授)による講演「子どもを支える関わり方ー相談される大人になるためにー」と題しグループディスカッションを取り入れながらの講演

【第4ブロック】

- 1. 日 時 令和6年9月1日(日)
- 2. 場 所 室蘭市環境科学館
- 3. 参加者 16名
- 4. 研修内容
 - ・道P連(含各委員会)の活動
 - ・各地区P連の実践交流
 - ・「えみらん(DENZA環境科学館・室蘭市図書館)」の見学

【第5ブロック】

- 1. 日 時 令和6年11月10日(土)
- 2. 場 所 鶴居村総合センター
- 3. 参加者 27名
- 4. 研修内容
 - ・道P連(含各委員会)の活動
 - ・各地区P連の情報交流
 - ・次年度ブロック代表について確認
 - ・高木菜那氏(スピードスケート選手)による講演「なな転び八起き～私が今伝えたいこと」と題した講演

北海道PTA懇談会

北海道PTA連合会では、今年度、人口規模の大小にとらわれず、北海道のスケールメリット（同種のを多く集めることによって、単体よりも大きな結果をだせること）を生かした「懇談会」を開催しました。当日は20地区の参加がありました。

1. 日 時 令和6年6月29日（土）16:00～17:15
2. 会 場 ホテルポールスター札幌
3. 参 加 者 各地区P連理事・事務局長・子育て委員、道P連役員
4. 第1グループ 石狩管内・後志・旭川市・宗谷・南空知・胆振西部・オホーツク東部地区・十勝管内・釧路市
第2グループ 小樽市・上川北部・上川南部・稚内市・留萌管内・函館市・北空知・胆振東部・オホーツク中部地区・釧路管内
5. 懇 談 の 柱
 1. 各地区P連の今年度の取組について ・地区研究大会 ・子育て研修会について
 2. 広報活動研修会について ・運営・内容面での成果と課題
 3. 各地区・市町村P連・単位PTAの課題や疑問点について
6. 懇 談 の 流 れ
 1. 懇談の概要説明（司会者） 討議の柱1～3を説明
 2. 自己紹介を兼ねて討議の柱1について意見交流を行う。（2点）
 3. 討議の柱2について全体で意見交流を行う。
 4. 討議の柱3で各地区・市町村P連・単位PTAの課題や疑問点について意見交流を行う。

令和6年度地区研修会の紹介

「子どもたちに、豊かな心と『生きる力』を育むPTA活動の推進」

宗谷管内PTA連合会

宗谷管内PTA連合会では、町村PTA連合会・単位PTAの共通目標として次の3点を設定しています。

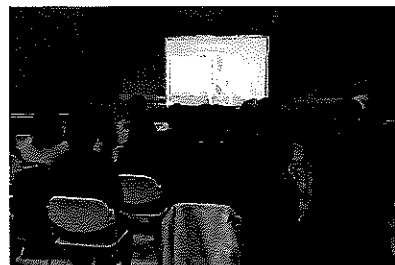
- (1) 家庭・学校・地域社会の連携を強め、相互理解と信頼に基づくPTA活動
- (2) 子どもたちに、豊かな心と「生きる力」を育むPTA活動
- (3) 基本的生活習慣の確立と食育を実践するPTA活動

令和6年度の「第67回宗谷管内PTA研究大会猿払大会・子育て研修会」は、上記のうち特に(2)を意識し、宗谷教育局による情報提供と落語家：林家染太さんによる講演という親子共に学べる内容構成としました。

局からは、社会教育指導班主査が参加され、「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣の定着」「子どもたちをネットトラブルから守るために」という内容でお話をいただきました。

講師：林家染太さんからは、「コミュニケーション・夢・命」をテーマに「いじめられっ子のぼくが落語家になったわけ」と題した50分間の講演の他、落語と南京玉すだれの披露がありました。

猿払村役場交流センターをメイン会場に各町・個人をオンラインで結んだハイブリット形式で、約130名が参加。「いじめがあっても、生きていければ必ず楽しいことある！」という熱いメッセージが画面ごとに伝わった。「ぜひ子どもたちにも直接そのメッセージを届けてほしい」「講演で学んだことは直ぐに実践したい。落語は子供たちと大爆笑で観ていました！『笑い』を与えられる職業は凄い！」等の声がありました。



(文責 宗谷管内事務局長 高橋正一)

第42回全道PTA広報紙コンクール受賞PTA

○ 大 賞

(3単P)

北海道知事賞

北海道新聞社賞

北海道教育委員会教育長賞

北海道新聞社賞

北海道PTA連合会会長賞

北海道新聞社賞

旭川市立愛宕東小学校PTA

釧路市立芦野小学校PTA

北見市立小泉小学校PTA

○ 優 秀 賞

(13単P)

(公社)日本PTA全国協議会賞

日本教育新聞社賞

同

北海道小学校長会賞

同

北海道中学校長会賞

同

北海道公立学校教頭会賞

同

北海道PTA連合会賞

同

北海道PTA安全互助会賞

同

旭川市立東五条小学校PTA

帯広市立啓北小学校PTA

稚内市立潮見が丘小学校PTA

東神楽町立東聖小学校PTA

帯広市立稲田小学校PTA

岩見沢市立緑中学校PTA

豊富町立兜沼小中学校PTA

帯広市立清川小学校PTA

函館市立東山小学校PTA

白老町立萩野小学校PTA

石狩市立生振小学校PTA

北見市立美山小学校PTA

北見市立南小学校PTA

○ 審査員特別賞(北海道新聞社賞)

(15単P)

旭川市立光陽中学校PTA

小樽市立朝里小学校PTA

北見市立おんねゆ学園PTA

足寄町立大誉地小学校PTA

函館市立昭和小学校PTA

芽室町立芽室中学校PTA

旭川市立中央中学校PTA

北見市立北小学校PTA

岩見沢市立第一小学校PTA

中標津町立旭中小学校PTA

留萌市立東光小学校PTA

北見市立北中学校PTA

釧路市立共栄小学校PTA

釧路市立釧路小学校PTA

愛別町立愛別小学校PTA

(順不同)

○ 奨励賞

(15単P)

旭川市立六合中学校PTA

帯広市立緑丘小学校PTA

帯広市立帯広第四中学校PTA

音更町立駒場小学校PTA

北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程PTA

帯広市立帯広第一中学校PTA

上士幌町立上士幌小学校PTA

幕別町立札内北小学校PTA

北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程PTA

北見市立南中学校PTA

小樽市立張碓小学校PTA

上士幌町立上士幌中学校PTA

愛別町立愛別中学校PTA

中札内村立中札内中学校PTA

清水町立清水小学校PTA

(順不同)

北海道 PTA 安全互助会制度の補償内容について

■以下の事故の場合に見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに事故報告をしましょう。

<園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償>学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金

- ・登下校中やご自宅でのケガ
- ・スポーツ（少年団活動を含む）でのケガ
- ・自転車で転倒した際のケガ
- ・授業のない日の部活動中のケガ

※園児・児童・生徒傷害補償の場合は、学校管理下外での事故に限ります

<PTA（活動中）傷害補償>PTA主催行事で起きたケガおよび死亡の見舞金

- ・スポーツ行事や学年、学級レクでのケガ
- ・研修活動中のケガ

<賠償責任補償（PTA）>PTA活動中の賠償責任を補償します

- ・PTA主催のお祭りで、PTA役員の誘導ミスにより来場者がケガをした

<賠償責任補償（PTA+子ども24時間）>園児・児童・生徒の賠償責任を24時間補償します

- ・児童が自転車で通行人に衝突し、通行人がケガをした

■未加入校はぜひご加入をお願いします。毎月1日を始期としてご加入いただけます。

子どもたちの学校以外での活動やPTA行事に安心して参加できるように、
補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

<会費>

【園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償】	被保険者1人につき	400円（1年間）
【PTA（活動中）傷害補償】	1世帯につき	195円（1年間）
【賠償責任補償（PTA）】	被保険者1人につき	18円（1年間）
【賠償責任補償（PTA+子ども24時間）】	被保険者1人につき	400円（1年間）

新たに加入を希望される場合は、北海道PTA安全互助会までご連絡ください（☎011-221-7680）

北海道PTA連合会
令和7年度

小・中学生総合補償制度

（団体総合生活保険）

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

◆各学校でご加入いただく北海道PTA安全互助会制度の上乗せ補償として、

各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。

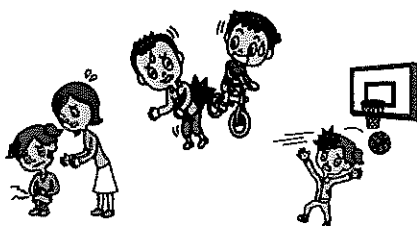
◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。

◆本制度は年1度の募集で、募集期間は令和7年4月1日～同年5月25日までです。

令和7年4月25日までの申込の場合 保険期間：令和7年5月1日午前0時～翌年4月1日午後4時

令和7年5月25日までの申込の場合 保険期間：令和7年6月1日午前0時～翌年4月1日午後4時

◆詳細な補償内容や申込手続き方法は、4月に各学校で配布されるパンフレットをご確認ください。



【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社

札幌支店金融公務チーム ☎011-271-7285

札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階

24TC-006899 令和7年2月作成